◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.332　（2022年度No.10）**　 　2022/3/18

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**「ケーキにしか見えない」と話題の多肉植物、桜吹雪**

**（あゆみ野農協安行園芸センター提供）**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-5** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **5-6** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **6-17** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **17-19** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **19-28** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

3月11日　　かわら版331号・かわら版ニュース＆トピックス217号を発行。

3月15日　　かわら版ニュース＆トピックス218号を発行。

3月18日　　かわら版332号・かわら版ニュース＆トピックス219号を発行。

**3月22日までに入稿のない場合は　ニュースレター224号をお休みします**

**皆様の寄稿をお願いいたします**

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***東京栄養サミット2021関係　2022/3/15**

**パンフレット「日本人の栄養と健康の変遷」を掲載しました**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000089299_00001.html>

**■***NEW***2022年１月12日　第24回厚生労働統計の整備に関する検討会　議事録　2022/3/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24355.html>

**■***NEW***薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会（オンライン会議）資料　2022/3/10**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24312.html>

**■第128回厚生科学審議会科学技術部会　資料　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24379.html>

**■第60回厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会　資料　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24313.html>

**■フィンランドから輸入される牛肉等の輸入に関する措置の見直し案に関する御意見の募集について　2022/3/7**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495210465&Mode=0>

　受付開始日時　2022年3月7日0時0分　受付締切日時　2022年4月5日23時59分

**■薬物乱用防止に関する情報　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html>

**■令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会　議事録　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24315.html>

**■令和３年度 第２回職場における化学物質管理に関する意見交換会　議事録　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24321.html>

**■院内感染対策サーベイランス運営会議（持ち回り開催）資料　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24329.html>

**■令和4年2月28日薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 新開発食品調査部会 新開発食品評価調査会　議事要旨　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24282.html>

**■令和４年２月18日　第76回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第28回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24051.html>

**■第１８回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会　予防接種基本方針部会**

**ワクチン評価に関する小委員会　資料　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000192554_00020.html>

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2022/3/16**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24453.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた、岩手県奥州市おうしゅうし（旧前沢町まえさわちょう及び旧衣川村ころもがわむらの区域を除く）で産出されたタケノコについて、出荷制限の解除を指示しました。

１　岩手県に対し指示されていた出荷制限の品目のうち、奥州市（旧前沢町及び旧衣川村の区域を除く）で産出されたタケノコについて、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から岩手県への指示は別添１のとおりです。

（２）岩手県の申請は、別添２のとおりです。

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

参考１

原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

参考２

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和3年3月26日）

（別添１）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000913317.pdf>

（別添２）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000913318.pdf>

（参考資料）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000913319.pdf>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２７９報）　2022/3/17**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24246.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２７８報）　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24079.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　※ 基準値超過　２件

　No.24　　福島県産　　イノシシ　　（Cs：380 Bq/kg）　福島市

　No.25　　福島県産　　イノシシ　　（Cs：390 Bq/kg）　福島市

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.6/ 2022（2022.03.16）　2022/3/16**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206m.pdf%20)

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 食品安全のための新たな実践共同体（COP：Community of Practice）により知識の共有および実践の向上が促される

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 3 月 9 日、2 月 28日、25 日、20 日付更新情報、17 日付初発情報）

**【米国食品医薬品局食品安全応用栄養センター（US FDA CFSAN）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が卵および卵製品の安全性向上のための新たな規制プログラムの基準「ERPS：Egg Regulatory Program Standards」を発表

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter）感染症（2022年 2 月 28 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. ツイッターを利用して公衆衛生上の脅威を早期に探知するためのツール「epitweetr」の更新版を欧州疾病予防管理センター（ECDC）が公開

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 伝達性海綿状脳症（TSE）の 2020 年のサーベイランス結果に関する欧州連合（EU）要約報告書

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 食品に関する消費者調査「Food and You 2」：第 1 回および第 2 回調査でのウェールズの主な結果に関する報告書

**【スコットランド食品基準庁（FSS）】**

1. サルモネラ感染の拡大を防ぐため英国がリトアニアからのすべてのペットフード用げっ歯類の輸入を禁止

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（08）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.6/ 2022（2022.03.16）　2022/3/16**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【BfR】 BfR は「pop-it fidget toys（プッシュポップ）」で調理しないよう助言する**

子供達の間で、柔らかい気泡が入っていて押すことのできるカラフルなシリコーン型の 「pop-it fidget toys（プッシュポップ）」という玩具が大人気である。この製品を使った小 さなケーキやチョコレートプラリネなどのお菓子の作り方を紹介する説明書や動画がイン ターネット上に広く掲載されている。しかし、この玩具は食品と接触することを意図して 製造されたものではなく、調理に使うとヒトの健康に有害な物質が食品に移行する可能性 がある。そのためBfR（ドイツ連邦リスクアセスメント研究所）は、プッシュポップ玩 具を調理には使用しないよう助言する。 ＊ポイント： 日本ではプッシュポップ、プッシュポップバブル、ポップイットなどの名 称で販売されているスクイーズ玩具です。日本でも人気のようで、多くのカラフルで可愛い製品が販売されています。ネット検索すると、ドイツと同じくお菓子作りの動画も出て くるので注意が必要です。

**【EFSA】 EFSA は飼料添加物エトキシキンの安全性を再評価する**

欧州食品安全機関（EFSA）が飼料添加物エトキシキンの再評価を実施した。エトキシ キンを提案されている濃度 50 mg/kg 完全飼料で使用した場合に、すべての動物種に安全 だと考えられる。しかし変異原性の可能性のある p-フェネチジンが不純物として存在する ため、寿命が長い動物や繁殖用の動物の飼料中の添加物についての安全量は特定できなか った。また、乳生産の反芻動物を除く、すべての動物種に対してエトキシキンを 50 mg/kg 完全飼料の最大総濃度で添加した場合の残留による消費者へのリスクは生じない。ただ し、これはエトキシキンとその変換生成物のみの推定に基づく。添加物には p-フェネチジ ンが存在しており、そのデータ不足のため評価できず、消費者への安全性に関する結論は 出せなかった。

＊ポイント： EFSA の 2015 年の評価では、さまざまなデータの不足により、エトキ シキンを飼料添加物として使用した場合の動物やその消費者、環境への安全性について結 論は出せないと報告していました。そのため飼料添加物としての使用認可が 2017 年 6 月 に取り下げられました。今回の評価は、その後に追加データとともに 4 件の認可申請が提 出されたために実施しています。今回の評価で不純物 p-フェネチジンについてはデータ不 足が再度指摘されましたが、エトキシキンとその酸化で生じる変換生成物による安全性に ついてはある程度の結論が出されたので、この評価結果を受けた欧州委員会の判断次第で は、飼料添加物としての使用が限定的に変更される可能性もあるかもしれません。

**【EFSA】 2-クロロエタノールの毒性に関する BfR の意見についての声明**

EFSA がエチレンオキシドの代謝物である 2-クロロエタノールの遺伝毒性について検討 したが、BfR による評価（2021 年）以降の追加データを考慮しても結論は出なかった。 そのため2-クロロエタノールの遺伝毒性の可能性が明確になるまで、EFSA はリスク評 価の参照点や健康影響に基づく指標値の設定は助言せず、in vitro 遺伝子変異や in vitro 小核試験の実施を勧める。

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第852回）の開催について　2022/3/17**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年3月22日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

　　　・「チオプロニン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（２）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

　　　・「エンラマイシン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）令和４年度食品安全確保総合調査課題（案）について

（４）「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正（案）」及び「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正（案）」について

（５）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、3月21日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、3月22日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■令和４年度食品安全委員会運営計画（案）についての意見の募集について　2022/2/18**

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_kikakutou_unei4_020218.html>

　令和４年２月１８日から令和４年３月１９日までの間、意見の募集を行います

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年2月11日から令和4年2月25日）2022/3/10**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=2&from_day=11&to=struct&to_year=2022&to_month=2&to_day=25&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（千葉県及び岩手県）　2022/3/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220318.html>

　　本日より、千葉県及び岩手県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

両県からの輸出再開をもって、全国からの香港への家きん由来製品輸出が可能となりました。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、高病原性鳥インフルエンザが発生した10県のうち、8県について香港当局から清浄性が認められ、輸出を再開してきたところ、今般、千葉県及び岩手県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

両県からの輸出再開をもって、全国からの香港への家きん由来製品輸出が可能となりました。

＜2021年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：9.8億円（鶏肉の総輸出額13.0億円）

香港向け鶏卵：57.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜過去の経緯＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月10日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和3年12月5日：千葉県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年2月12日：岩手県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年1月31日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年3月4日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年3月18日：千葉県及び岩手県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220317_4.html>

　　農林水産省は、3月16日（水曜日）にフランスのモルビアン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

フランスのモルビアン県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月16日（水曜日）にモルビアン県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

**令和2年11月18日付けプレスリリース「フランスのオート・コルス県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201118_3.html>

**令和2年11月24日付けプレスリリース「フランスのイヴリーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201124_6.html>

**令和3年2月1日付けプレスリリース「フランスのアルデンヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210201.html>

**令和3年3月17日付けプレスリリース「フランスのオー・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210317_3.html>

**令和3年4月26日付けプレスリリース「フランスのバ・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210426.html>

**令和3年9月21日付けプレスリリース「フランスのエーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210921.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_2.html>

**令和3年12月20日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211220.html>

**令和3年12月23日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211223_3.html>

**令和4年1月5日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220105_5.html>

**令和4年1月17日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220117.html>

**令和4年2月14日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220214_3.html>

**令和4年2月18日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_9.html>

**令和4年2月21日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221.html>

**令和4年3月7日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220307.html>

**令和4年3月16日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停**

**止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316_1.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220317.html>

農林水産省は、3月14日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミズーリ州からの、3月15日（火曜日）にメリーランド州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました

1.経緯

米国ミズーリ州及びメリーランド州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月14日（月曜日）にミズーリ州からの、令和4年3月15日（火曜日）にメリーランド州からの家きん肉等の一時停止措置（※1）の対象範囲を以下のように変更しました。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ミズーリ州及びメリーランド州全域

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、二国間で設定した輸入条件を踏まえ、本措置の対象範囲を発生郡から州全域へとし変更しています。

**令和3年10月8日付けプレスリリース「米国カリフォルニア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211008.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_3.html>

**令和4年1月13日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220113_7.html>

**令和4年2月10日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220210_8.html>

**令和4年2月17日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220217.html>

令和4年2月18日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_8.html>

令和4年2月21日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221_2.html>

**令和4年2月22日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220222_5.html>

**令和4年2月25日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220225.html>

**令和4年3月4日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304.html>

**令和4年3月9日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220309.html>

**令和4年3月11日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220311.html>

**令和4年3月15日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220315.html>

**令和4年3月16日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316.html>

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316_1.html>

**農林水産省は、3月14日（月曜日）にフランスのカンタル県からの、3月15日（火曜日）にヴィエンヌ県及びシャラント県からの、3月16日（水曜日）にロット県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**フランスのカンタル県及びドゥー・セーブル県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認され、カンタル県での発生に伴い設定された制限地域が隣接するロット県に、ドゥー・セーブル県での発生に伴い設定された制限地域が隣接するヴィエンヌ県及びシャラント県に及んだ旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**（参考）ドゥー・セーブル県からの生きた家きん、家きん肉等については、令和4年1月11日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**2.対応**

**フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月14日（月曜日）にカンタル県からの、令和4年3月15日（火曜日）にヴィエンヌ県及びシャラント県からの、令和4年3月16日（水曜日）にロット県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。**

**※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。**

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316.html>

　　農林水産省は、3月16日（水曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ウィスコンシン州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ウィスコンシン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月16日（水曜日）にウィスコンシン州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

ウィスコンシン州全域

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ウィスコンシン州ジェファーソン郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220315.html>

　　農林水産省は、3月14日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）イリノイ州及びアイオワ州からの、3月15日（火曜日）にメイン州及びカンザス州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国イリノイ州、アイオワ州、メイン州及びカンザス州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月14日（月曜日）にイリノイ州及びアイオワ州からの、令和4年3月15日（火曜日）にメイン州及びカンザス州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

イリノイ州及びカンザス州全域

（参考）アイオワ州は令和4年3月3日以降、メイン州は令和4年2月21日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

イリノイ州マクリーン郡、アイオワ州テイラー群、メイン州リンカーン郡及びカンザス州フランクリン郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**■***NEW***初！和食文化継承のための小学生向け教材”わたしたちと「和食」”が完成　2022/3/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220314.html>

**■***NEW***和食×人材育成トークショー”UMAMIのある話”3月14日から配信開始！　2022/3/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220314_12.html>

**■***NEW***第36回FAOアジア・太平洋地域総会(閣僚級会合)の結果概要について　2022/3/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/y_kokusai/kikou/220312.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220311.html>

　農林水産省は、3月11日（金曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ケンタッキー州及びメリーランド州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ケンタッキー州及びメリーランド州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月11日（金曜日）にケンタッキー州及びメリーランド州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）生きた家きんについては、ケンタッキー州は令和4年2月16日以降、メリーランド州は令和4年3月7日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ケンタッキー州ウェブスター郡及びメリーランド州クイーンアンズ郡（発生郡）

なお、ケンタッキー州については、令和4年2月16日以降、同州フルトン郡での発生により同州全域を停止対象としていましたが、米国家畜衛生当局からの情報提供に基づき、停止対象をフルトン郡へ縮小しました。

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**■「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」の結果公表について　2022/3/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/220310.html>

　　農林水産省では、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を実施しています。

この運動の一環として、消費者の日常の消費行動や、食や農に対する意識、普段の食事の実態等を把握するため、「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」を実施し、結果を取りまとめましたので、公表します。

1.調査の目的及び背景

農林水産省では、食と環境を支える農業・農村への国民の理解を醸成するため、令和3年度より、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

本運動の一環として、消費者の日常の消費行動や、食や農に対する意識、普段の食事の実態等を把握することを目的として実施した調査の結果を公表します。

2.調査手法　以下の手法により、調査を実施しました。

1)定量調査

全国の4000名を対象として、消費者がどのように情報を入手し、どのような意識で食品等を購入しているか、また、食や農に対してどのような意識を持っているか等を調査しました。

2)写真調査

全国の30名を対象として、1週間の食事の写真を撮影し、食事時間やメニュー、食料自給率の予測値等について回答する調査を実施しました。

3.調査結果（概要）

1)定量調査

食に関して重視していることについては、「できるだけ日本産の商品であること」回答した割合が最も高く、次に、「同じような商品であれば出来るだけ価格が安いこと」と回答した割合が高い結果となりました。

また、現在の日本の農業の課題としては、食品ロスの削減、農業従事者の減少・高齢化、食料自給率の低下についての認知度が高い結果となりました。

2)写真調査

対象者の食料自給率（カロリーベース）の7日間の平均値は40%と、令和2年度のカロリーベース食料自給率37%の数値を若干上回る結果となりました。

また、主食の割合について「米食」は41%、「パン食」は19%、「麺類」は14%という結果になりました。

調査の結果を農林水産省ホームページにて掲載しております。

URL：<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/koudou.html>

添付資料

食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/220310-1.pdf>

**■合同会社リュウセイにおける生鮮水産物の不適正表示に対する措置について　2022/3/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/220309.html>

　農林水産省は、合同会社リュウセイ（本社：熊本県宇土市住吉町2212番地1。法人番号6330003007706。以下「リュウセイ」という。）が、生鮮水産物あさりの原産地について中国産又は韓国産であるにもかかわらず、「熊本産」と事実と異なる表示をし、販売していたことを確認しました。

このため、本日、リュウセイに対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

1.経過

農林水産省九州農政局が、令和3年11月11日から令和4年2月16日までの間、リュウセイに対し、食品表示法（平成25年法律第70号）第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。

この結果、農林水産省は、リュウセイが、原産地が中国産又は韓国産の生鮮水産物あさりについて、輸出国における成育期間より熊本県での蓄養期間の方が短いにもかかわらず、「熊本産」と表示をして、少なくとも令和2年6月18日から令和3年5月3日までの間に、926,488 kgを中間流通業者20社に販売したことを確認しました。

2.措置

リュウセイが行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「原産地」の表示の方法の規定に違反するものです（別紙参照）。

このため、農林水産省は、リュウセイに対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。

指示の内容

(1)販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2)販売していた食品について、不適正な表示を行った主たる原因として、食品表示制度に関する法令遵守の認識が著しく欠如していたと考えざるを得ないことから、これを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)食品表示制度の遵守を徹底し、再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4)全役員及び全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5)(1)から(4)までに基づいて講じた措置について、令和4年4月11日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

参考

本件について、農林水産省九州農政局でも同様のプレスリリースを行っております。

　添付資料

別紙 食品表示法

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220309-1.pdf>

参考 合同会社リュウセイの概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220309-2.pdf>

**■「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインの策定について　2022/3/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/220309.html>

　 農林水産省は、昨日3月8日に開催した「第4回国際水準GAP推進検討会」を踏まえ、「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインを策定しましたのでお知らせします。

1．経緯

　 GAP（Good Agricultural Practices：農業生産工程管理）とは、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動であり、食品の安全性向上、環境の保全労働安全の確保等に資するとともに、農業経営の改善や効率化につながる取組のことです。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）における食材の調達基準としてGAP認証等が採用され、東京大会への食材提供を目指し、GAPの取組を推進してきた結果、生産現場におけるGAPの認知度が向上し、全国でGAPの取組が広がりました。我が国の農業の持続的な発展のためには、東京大会後もGAPの取組を引き続き拡大していく必要があることから、令和3年11月、GAPに係る農業者、有識者等の関係者からなる「国際水準GAP推進検討会」を設置し、今後、どのように国際水準GAPを推進していくべきかについて、議論を進めてきました。

昨日3月8日に開催した「第4回国際水準GAP推進検討会」において、「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインをとりまとめました。

2．「我が国における国際水準GAPの推進方策」の概要

「我が国における国際水準GAPの推進方策」では、

国際水準GAPに取り組むことで、農業者自らがSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に貢献できることを理解し、これを実需者・消費者にも広く発信していくこと

国際水準GAPガイドラインの策定により我が国共通の取組基準を明確にし、国と都道府県が一体となって国際水準GAPを進めていくこと

を基本方針としています。その実現に向けた具体的な取組として、

国際水準GAPの取組内容の標準化及び生産現場へのわかりやすい説明ツールの作成

GAPの取組データのデジタル化を促進し、農業者のSDGsや環境負荷低減等への貢献を見える化

都道府県の指導体制の強化

JA等と連携した面的取組の拡大

実需者や消費者の国際水準GAPの認知度向上

を進めていくこととしています。

こうした取組により、「2030年までにほぼ全ての産地で国際水準GAPが実施されるよう、現場での効果的な指導方法の確立や産地単位での導入を推進」という目標達成に向け、国際水準GAPの取組拡大を進め、我が国の農業の競争力強化と持続的な発展につなげるとともに、SDGsが目指す経済・社会・環境が調和した持続可能な世界の実現を図ってまいります。

3．参考

　「我が国における国際水準 GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインは、農林水産省ウェブサイト　<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>　からご覧いただけます。

**■岩手県久慈市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内16例目）に係る移動制限の解除について　2022/3/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220308.html>

　　岩手県は、同県久慈市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内16例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年3月8日（火曜日）午前0時（3月7日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）岩手県は、同県久慈市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内16例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）岩手県は、同県久慈市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年3月1日16時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、岩手県は、国内16例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年2月14日の翌日から起算して21日が経過する令和4年3月8日（火曜日）午前0時（3月7日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内16例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220212.html>

**岩手県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内16例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220216.html>

**岩手県久慈市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内16例目）に係る搬出制限の解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220301.html>

**■オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2022/3/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304_4.html>

　　農林水産省は、3月3日（木曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダのヘルダーラント州及び北ブラバント州の家きん飼養農場において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月3日（木曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、ヘルダーラント州での発生に伴い設定された制限地域が及んだ第13番の区域及び北ブラバント州での発生が確認された第17番の区域。なお、ヘルダーラント州での発生が確認された第10番の区域については、令和4年1月25日以降、一時輸入停止措置をしています。

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

令和2年10月30日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201030.html>

令和2年11月17日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201117_3.html>

令和3年10月28日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211028.html>

令和3年11月2日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211102.html>

令和3年11月4日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211104.html>

令和3年11月5日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105.html>

令和3年11月18日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211118.html>

令和3年12月22年付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211222_6.html>

令和4年1月25日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220125.html>

令和4年1月26日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220126_9.html>

**令和4年2月21日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221_3.html>

**■香港向け家きん由来製品の輸出再開について（鹿児島県及び愛媛県）　2022/3/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304_5.html>

　本日より、鹿児島県及び愛媛県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県のうち、香港当局から高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた6県において輸出を再開してきたところ、今般、鹿児島県及び愛媛県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の発生県に関する輸出再開協議を行ってまいります。

＜2021年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：9.8億円（鶏肉の総輸出額13.0億円）

香港向け鶏卵：57.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜過去の経緯＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月10日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和3年11月13日：鹿児島県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年12月31日：愛媛県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年1月31日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年2月22日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月4日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

＜香港が輸入を一時停止している県＞

千葉県、岩手県

参考

動物検疫所ホームページ

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***第8回「消費者保護のための啓発用デジタル教材開発に向けた有識者会議」の会議資料を公表しました　2022/3/18**

<https://www.caa.go.jp/policies/future/meeting_materials/review_meeting_002/>

**■***NEW***地方連携推進フォーラム2022in岡山における「成年年齢引下げに向けた4省庁連携プログラム」について(2022年2月27日(日))**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_education/consumer\_education/lower\_the\_age\_of\_adulthood/event/#forum](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/consumer_education/lower_the_age_of_adulthood/event/%23forum)

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/consumer_education/lower_the_age_of_adulthood/event/movie_002/>

**■***NEW***製造物責任(PL)法に基づく訴訟情報の収集　2022/3/15**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/other/product_liability_act/>

**■***NEW***株式会社セドナエンタープライズに対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/3/15**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027909/>

　　消費者庁は、本日、株式会社セドナエンタープライズに対し、同社が供給する「脱毛ラボ ホームエディション」と称する商品に係る表示について、景品表示法に違反する行為(同法第5条第2号(有利誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

株式会社セドナエンタープライズに対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220315_1.pdf>

**■人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起　2022/3/9**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027832/>

　人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起を行いました。

詳細

令和3年の春以降、家電製品、台所用品、生活雑貨などの公式通信販売サイトを装った偽サイトで商品を注文してしまったなどの相談が各地の消費生活センター等に数多く寄せられています。

消費者庁が調査を行ったところ、人気ブランドのロゴや商品の画像を盗用した偽の通信販売サイトにおいて、商品を注文して代金を支払ったにもかかわらず商品が届かないという被害(消費者を欺く行為)の発生を確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_220309_01.pdf>

**■「消費者基本計画工程表改定素案」に関する意見募集について　2021/3/9**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/basic_plan/>

　令和4年3月9日～4月7日

**■風評被害に関する消費者意識の実態調査(第15回)について　2022/3/8**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027787/>

　　消費者庁では、東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて、「食品と放射能に関する消費者理解増進チーム」を設置し、消費者の理解増進を図る風評被害対策に取り組んでいます。今般、この取組の一環として、風評被害に関する消費者意識の実態調査(第15回)を実施しました。

本調査によると、放射性物質を理由に購入をためらう産地として福島県と回答した人の割合は6.5%、「被災地を中心とした東北」と回答した人の割合は4.9%と、引き続き減少傾向にあります。

また、本年度新たに、風評被害を防止し、売られている食品を安心して食べるため行うべきことを尋ねたところ、「それぞれの食品の安全に関する情報提供(検査結果など)」、「それぞれの食品の安全性に関する情報に触れる機会の増加」及び「それぞれの食品の産地や産品の魅力に関する情報提供」が上位3つとなりました。

本調査の結果を踏まえ、引き続き、食品中の放射性物質に関する情報発信や、福島県を中心とした被災地の農林水産物の魅力等を広くお伝えするための取組を推進してまいります。

公表資料

概要　<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms203_220308_01.pdf>

報告書

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms203_220308_02.pdf>

**風評被害に関する消費者意識の実態調査について**

[https://www.caa.go.jp/disaster/earthquake/understanding\_food\_and\_radiation/#harmful\_rumor](https://www.caa.go.jp/disaster/earthquake/understanding_food_and_radiation/%23harmful_rumor)

**■インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について(令和3年10月～12月)　2022/3/8**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant\_advertisement/#internet](https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant_advertisement/%23internet)

**■第113回消費者安全調査委員会　2022/3/3**

[https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/meeting\_materials\_001/#m113](https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/meeting_materials_001/%23m113)

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★アサヒグループ食品「1歳からのおやつ+DHA 黒豆きなこクッキー」 - 回収　一部商品に微細な金属異物が混入していることが判明　2022/3/17**

**★ファーストデリカ「辛子酢味噌で食べる豚軟骨、ピリ辛だれで食べる豚軟骨」 - 返金／回収アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/3/17**

**★紅梅フジコ「かまえ紅梅のすりみ」 - 返金／回収　加熱不十分により大腸菌群その他の殺菌が不十分となり、健康被害が発生するおそれがあるため　2022/3/16**

**★魚宗フーズ（四国マルナカ）「細巻2本入（サーモン・ツナ）」 - 返金／回収　アレルゲン「えび」の表示欠落　2022/3/16**

**★阪急デリカアイ「田舎おむすび（2コ）（鮭・昆布）、田舎おむすび（2個）（鮭・ツナマヨ）」 - 回収　アレルゲン「卵、乳成分」、「小麦、ごま」の表示欠落　2022/3/16**

**★末広製菓「手巻寿司（ツナマヨネーズ、海老マヨネーズ）」 - 返金／回収　アレルゲン「海老・豚肉」の表示欠落　2022/3/16**

**★イオンリテール（イオン北浦和店）「バナメイむきえび（養殖・解凍）加熱用」 - 返金／回収　「ボイルむきえび生食用 インドネシア産原料使用」のラベルを誤貼付　2022/3/16**

**★西山製麺「札幌Fuji屋札幌味噌つけ麺　2人前」 - 返金／回収　誤って「in EZO札幌まぜそば」たれを添付（アレルゲン「ごま」の表示欠落）　2022/3/16**

**★広島アンデルセン「リンツァーアオゲン（チョコ）」 - 返金／回収　ココアの表示シールを誤貼付（アレルゲン「卵・大豆」の表示欠落）　2022/3/16**

**★菜花の里（ペリエマルシェ千葉）「チーズナン」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限22.6.6、正：消費期限4.3.10）　2022/3/14**

**★ジャパンソルト「乾燥いちご」 - その他　食品衛生法第13条違反（残留基準値を超えるカルバリルを検出）　2022/3/14**

**★ベル食品「ヤマヨ比内地鶏鶏しおラーメンスープ」 - 回収　賞味期限の誤表示（誤：23.11.06、正：22.11.06）　2022/3/11**

**★あさ開「吟醸板粕」 - 返金／回収　商品にポリアミド（ナイロン樹脂）が混入しているおそれがあるため　2022/3/10**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★ウイルスによる食中毒★**

**■京都の飲食店で１７人からノロ検出　店を営業停止処分**

**3/12(土) 21:43配信　産経新聞****京都府亀岡市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ed45c3ca6a0d96ba11b1f2b4d0dc52c8ea1e1762>

**回転ずし店で食事の客9人が下痢や嘔吐、2日間の営業停止処分　京都・亀岡**

**3/12(土) 18:46配信　京都新聞**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/52ab9c49f4e3fbf6a8a0dab3988892c508cb430f>

　京都府は12日、亀岡市千代川町のすし店「廻（まわ）る寿（す）し　祭り　亀岡店」で食事をした同市や南丹市の5～81歳の男女9人が下痢や嘔吐（おうと）などの症状を訴え、うち7人と従業員10人からノロウイルスが検出されたと発表した。食中毒と断定し、同日から2日間の営業停止処分とした。

府南丹保健所によると、9人は6、7日に来店。マグロやサーモンなどのにぎりずしが原因とみられるという。全員が快方に向かっている。

**令和3年度の京都府における食中毒発生状況　2022/3/12　京都府亀岡市**

**ノロウイルス**

<http://www.pref.kyoto.jp/seikatsu/shokutyuudoku.html>

発病月日　2022/3/7

原因施設所在地　亀岡市

摂食者数　９名

患者数　９名

原因食品　3月6日及び7日に提供された食事

原因物質　ノロウイルス

原因施設　飲食店

**食中毒の発生について　2022/3/12　京都府亀岡市**

**ノロウイルス**

<http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/r3syokutyudoku.html>

探知の概要

3月9日（水曜）午前11時頃、医療機関から南丹保健所に対し、「3月6日（日曜）に飲食店を利用した家族3名及び同店従事者1名を微熱、嘔吐等で診察した。」と情報提供があった。

また、3月10日（木曜）に当該飲食店利用者及び3月11日（金曜）に別の医療機関から同様の情報提供があった。

調査結果（3月12日（土曜）午後4時現在）

(1)初発日時：3月7日（月曜）午後11時

(2)有症者：4グループ9名中9名(男性3名、女性6名：5～81歳）

　　　　　　 8名が医療機関を受診。入院者なし。いずれも快方に向かっている。

(3)主な症状：発熱、下痢、嘔吐

(4)病因物質：ノロウイルスGⅡ

(5)原因食事：3月6日（日曜）及び7日（月曜）に当該飲食店が提供した食事

　　　　　　　主なメニュー：マグロ、サーモン、かんぱち等のにぎり寿し

原因施設

(1)屋号：廻る寿し　祭り　亀岡店

原因施設の特定理由

(1)有症者の共通食事は、当該飲食店が提供した食事のみである。

(2)有症者の発症状況が類似しており、有症者7名及び従事者10名からノロウイルスGⅡが検出された。

(3)有症者の症状と、ノロウイルスによる食中毒症状が類似している。

(4)患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

南丹保健所の対応

(1)原因施設の立入調査（調理従事者の検便検査、衛生指導、施設の清掃・消毒の指示等）

(2)喫食者の調査（発症状況調査、喫食状況調査、検便等）

(3)食品衛生法第60条第1項の規定による営業停止処分

（3月12日（土曜）から3月13日（日曜）までの2日間）

　※なお、営業者は、3月11日（金曜）夜から営業を自粛しています。

**■通夜の料理で１９人食中毒　岡山の飲食店提供 全員快方向かう****2022/3/11　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://www.sanyonews.jp/article/1238576>

**岡山市報道発表資料　2022/3/11　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/cmsfiles/contents/0000022/22886/siryou.pdf>

事件の概要

令和４年３月１０日（木）午前８時４０分頃、「市内葬儀場で行われた通夜に参加後、体調不良になった者が複数名いる」旨の情報が参加者から当市保健所にあった。

当市保健所で調査したところ、３月７日（月）に行われた通夜に提供された料理を喫食した２グループ１９名が腹痛、下痢、嘔吐等の症状を呈していることが判明した。

有症者に共通する食事は「有限会社とき和」が調製した料理のみであること、また有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該料理を原因食品とする食中毒事件と断定した。

調査者数 ２５名

患者数 １９名（男性１０名、女性９名）

初発患者　住所：岡山市 性別：女性 年齢：５０歳代

発病年月日 令和４年３月８日（火） 午後１１時頃

症状 腹痛、下痢、嘔吐等

原因（と推定される）食事の調製者

所在地：岡山市

屋号：とき和

営業の種類：飲食店営業

献 立

助六寿司 （巻き寿司、いなり寿司)

握り寿司盛り合わせ（イカ、マグロ、エビ、アナゴ、サーモン等）

オードブル（唐揚げ、アジフライ、春巻、鰆の幽庵焼、小松菜和え等）

検査物等

施設内ふきとり： １５検体 検査場所：岡山市保健所

検 便： ６検体 検査場所：岡山市保健所

従事者便： １０検体 検査場所：岡山市保健所・医療機関

　残 品： ９検体 検査場所：岡山市保健所

原因食品　調査中

病因物質　調査中

行政処分　営業停止処分

（令和４年３月１１日（金）から令和４年３月１４日（月）までの４日間）

参考事項

１．昨年（１月～１２月）１年間の岡山市内での発生状況

３件 ８０名（うち死者 ０名）

２．今年の岡山市内での発生状況（今回の事件を含む）

１件 １９名（うち死者 ０名）

**■食中毒が発生しました　2022/3/11　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220311.html>

　１　事件の探知

　　令和４年３月３日（木）、築上郡内の飲食店事業者から、同事業者が経営する施設の利用者複数名が食中毒様症状を呈している旨、京築保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

同事務所が調査したところ、築上郡内の事業者が豊前市にて営業する飲食店を利用した複数名が嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈していることが判明した。

同事務所は、疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　調査中　判明分：令和４年３月１日（火）１時頃（初発）

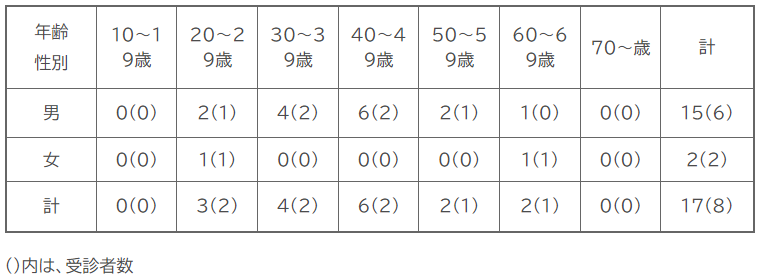
４　摂食者数　調査中　判明分：37名

５　症状　調査中　判明分：下痢、嘔吐等

６　有症者数　調査中　判明分：17名（男性15名、女性2名）

うち、8名が医療機関を受診しており、、１名が入院していたが既に退院している。

なお、有症者については重篤な症状は呈しておらず、全員快方に向かっている。



　７　原因施設、原因食品、病因物質

(1)原因施設

　 屋　号：サンプク

　 業　種：飲食店営業

(2)原因食品　２月28日～3月2日の間に提供した食事

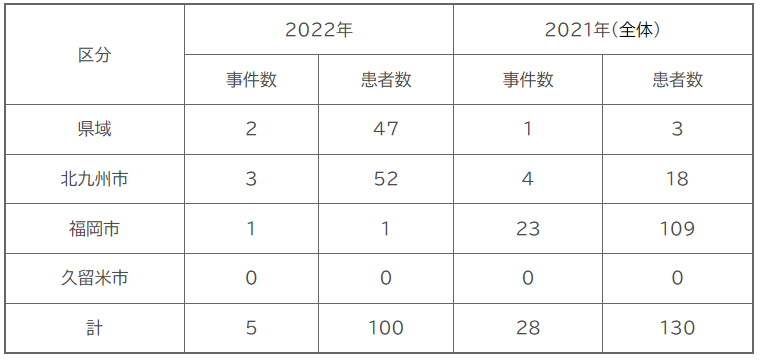
(3)病因物質　ノロウイルス

８　検査　有症者便及び調理従事者便からノロウイルスを検出した。

９　措置　営業停止：１日間（３月１１日）

９　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（３月１１日現在。調査中の事件を除く。）



**■出前ランチ食べた6人が下痢や嘔吐…飲食店の調理担当らから『ノロウイルス』店を3日間営業停止に　3/11(金) 16:15配信　石川テレビ****石川県金沢市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6168ac265249dfd4c92cb87efa7841735d80e2d7>

**食中毒事件の概要について　2022/3/11　石川県金沢市**

**ノロウイルス**

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/18187/1/220311_pressrelease.pdf?20220313110350>

１ 発生年月日 令和４年３月８日(火)

２ 原因施設　施設名 ： グリルニュー狸

業 種 ： 飲食店営業 一般食堂

３ 事件の端緒　３月９日(水)午後 12 時半頃、市内医療機関から当課に、「本日午前に下痢、嘔吐等の症状で１名受診した。３月７日(月)の昼、「グリルニュー狸」の出前ランチを喫食しており、同じ出前ランチを喫食した７名中６名が体調不良を訴えているらしい。」との連絡があった。

４ 事件の状況 調査の結果、

・ 当該施設の出前を喫食した６名が同様の食中毒様症状を呈していること

・ 患者２名及び調理従事者１名の検便からノロウイルスが検出されたこと

・ 症状及び潜伏期間がノロウイルスによるものと一致すること

・ 患者に共通する飲食物は当該施設が提供した食事以外にないこと

・ 患者を診察した医師より食中毒の届出があったこと

以上から当該施設の食事を原因とする食中毒と断定した。

５ 患者数等 ６名(20～40 歳代の男女) このうち、医療機関受診者１名(入院なし)

患者は全員回復傾向にある。

６ 主な症状　腹痛、下痢、嘔吐、発熱 等

７ 措 置 等 当該施設に対し、３月 11 日(金)から 13 日（日）までの３日間、営業の停止を命ずるとともに、営業者に対して、施設・設備の清掃・消毒の実施を指示し、併せて衛生教育を実施する。

８ 病因物質　ノロウイルス

９ 原因食品　３月７日に当該施設が調理提供した食事

（ハンバーグ、サーモンフライ、生野菜、ポテトサラダ、ご飯）

□ 本年度中の食中毒発生状況(金沢市)　９件、 患者 63 名(本件含む)

□ 昨年度同期の発生状況(金沢市)　 ４件、 患者８名

■ 本年度中の食中毒発生状況(石川県) 　16 件、 患者 83 名(本件含む

■ 昨年度同期の発生状況 (石川県 ) 　８件、 患者 25 名

**★寄生虫による食中毒★**

**■米子保健所管内の飲食店でアニサキスによる食中毒発生　鳥取県米子市**

**3/16(水) 22:47配信　BSS山陰放送**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/332d6015e9a2fe33e90f09c9d24fa4bfdf01a41e>

**■また『アニサキス』…飲食店でシメサバ等の刺身食べた女性から検出 食中毒として店を営業停止に　3/15(火) 14:50配信　石川テレビ　石川県金沢市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8df41120fcc24c44c9365b3f32a7a41b754845f7>

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/3/15　江戸川区**

**アニサキス**

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/8048/syobunnnaiyou_1.pdf>

　公表年月日　令和４年３月 15 日

業種等　飲食店営業（※注１）

施設名称　舟庵

主な適用条項　食品衛生法第６条違反による、同法第 55 条第１項（※注２）の適用

不利益処分等を行った理由　食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業の一部停止（１日間）

一部停止となる営業の内容　生食用鮮魚介類（冷凍品を除く。）の調理、提供。なお、冷凍品とは－20℃以下で 24 時間以上の冷凍をしたものをいう。

食中毒の原因　アニサキス

原因となった食品　令和４年３月３日に当該施設が調理提供した刺身

備考　患者数 １名

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/3/14　東京都小金井市**

**アニサキス**

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/ihan/kouhyou.html>

　公表年月日　220314

業種等　飲食店営業

施設の名称　魚やの台所

主な適用条項　食品衛生法等の一部を改正する法律（平成３０年法律第４６号）第２条の規定による改正前の食品衛生法（昭和２２年法律第２３３号。以下「法」という。）第６条の規定に違反するので、法第５５条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第１２３号）附則第２条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容　営業停止命令（３月12日）

生食用魚介類（冷凍品を除く。）の調理、提供に限る

備考　（３月11日現在の状況）

原因食品：当該施設で調理、提供した「シメサバ」及び「ブリの刺身」

病因物質：アニサキス

３月３日から患者１名が腹痛、下痢を発症

**■回転寿司店で食中毒…50代男性から『アニサキス』検出 営業停止処分に アジやバイ貝など食べる　3/13(日) 14:45配信　石川テレビ　石川県金沢市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4bd4051be8a2985f133c84e384d340743d81ae60>

**食中毒事件の概要について　2022/3/13　石川県金沢市**

**アニサキス　ホーム > くらし・教育・環境 > 食 > 食の安全・安心 > 食品衛生 > 食品衛生法違反者の公表について**

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/18187/1/220313_pressrelease.pdf?20220313110350>

　１ 発生年月日　令和４年３月 11 日(金)

２ 原因施設　施設名 ： 金沢まいもん寿司 新神田店

業 種 ： 飲食店営業 すし屋

３ 事件の端緒　３月 11 日、市内医療機関より、「受診した患者の胃からアニサキスが検出された。」との連絡があった。調査したところ、患者は３月10 日(木)の夜、「金沢まいもん寿司 新神田店」で寿司を喫食しており、翌３月 11 日午前０時頃より腹痛を発症したことが判明した。

４ 事件の状況 調査の結果、

・患者の胃壁からアニサキスが摘出されたこと

・症状及び潜伏期間が胃アニサキス症によるものと一致すること

・胃アニサキス症の潜伏期間内に凍結及び加熱工程のない魚介類を喫食したのは、当該施設のみであること

・診察した医療機関から食中毒患者届出票が提出されたこと

以上から当該施設を原因とする食中毒と断定した。

５ 患者数等　１名 （50 歳代男性） 現在は回復している。

６ 主な症状　腹痛

７ 措置等　当該施設に対し、３月 13 日(日)の１日間、営業の停止を命ずるとともに、営業者に対して、魚介類の取り扱いについて改善を指示し、併せて衛生教育を実施する。

８ 病因物質　アニサキス

９ 原因食品　３月 10 日に当該施設で調理提供した寿司（アジ、バイ貝等）

□ 本年度中の食中毒発生状況(金沢市) 10 件、 患者 64 名(本件含む)□ 昨年度同期の発生状況(金沢市) ４件、 患者８名

■ 本年度中の食中毒発生状況(石川県)　 17 件、 患者84 名(本件含む)■ 昨年度同期の発生状況(石川県) ８件、 患者25 名

**■市内における食中毒発生状況　2022/3/5　神戸市**

**アニサキス**

<https://www.city.kobe.lg.jp/a99427/kenko/health/hygiene/food/fpstatus.html>

　発生月日　2022/3/5

　摂食者数　2名

　患者数　1名

　原因食品　しめさば

　原因等　アニサキスが寄生した食品の死滅・除去処理不十分での喫食

　病因物質　アニサキス

　原因施設　飲食店

　摂食場所　原因施設

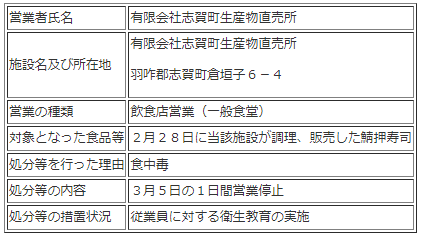
**■行政情報追加　サバの押し寿司食べたら腹痛…40代男性の胃から『アニサキス』食中毒と断定し直売所を営業停止に　3/5(土) 18:15配信　石川テレビ　石川県志賀町　アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c49f8c868473b4a11951c0d177b1748a95b7ad64>

**飲食店営業施設等に対し、食品衛生法により石川県が行った不利益処分等についてお知らせします。2022/3/5　石川県志賀町**

**アニサキス**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/syokuhin/syokutyuudoku_top_3.html>



**■食中毒の発生について　2022/3/4　愛媛県西条保健所管内**

**クドア・セプテンクタータ**

<https://www.pref.ehime.jp/h25300/4793/shokuchuudoku/documents/20220304press.pdf>

　１ 概 要

令和４年２月２５日(金)、四国中央保健所に対し住民から「法事に参加した複数名が嘔吐下痢等を呈している」との連絡があった。

患者らはいずれも法事で提供された仕出し弁当を喫食しており、弁当調製施設を管轄する西条保健所が調査したところ、仕出し弁当の残品のヒラメの刺身からクドア・セプテンプンクタータ（以下「クドア」）が検出されたこと、患者に共通する食事は仕出し弁当のみであること、患者の症状等がクドアによる食中毒の特徴と一致することなどから、本件をヒラメの刺身を原因とする食中毒と断定した。なお、患者はすでに回復している。

２ 発生状況

(１)発生日時 ２月２５日(金)１７時００分～２月２６日（土）７時００分

(２)喫食者数 １２名 （男５名、女７名）（年齢１２歳～８９歳）

(３)喫食日時 ２月２５日(金)１３時００分～１９時１５分

(４)発症者数 ７名(男２名、女５名) (年齢６５歳～８９歳)

(５)受診者数 ２名(男１名、女１名)（年齢６６歳、６７歳) (四国中央市内の医療機関)

(６)入院者数 ０名

(７)主な症状 吐き気、嘔吐、下痢等

(８)原因施設 西条保健所管内の飲食店

(９)原因食品 ヒラメの刺身

(10)病因物質 クドア・セプテンプンクタータ（断定）

※なお、原因となったヒラメはすでに廃棄されており、原因施設の衛生管理及び食品の取扱いに問題は認められず、他に改善すべき事項がなかったことから厚生労働省通知に基づき不利益処分を行っていない。病因物質がクドアの場合は、当該ヒラメを廃棄等することにより食中毒の拡大・再発防止が可能であるため、他に改善すべき内容がない場合には、営業禁止及び停止の期間の設定は不要としている。

テーブル

自動的に生成された説明

**★違反食品★**

**■違反食品等に対する不利益処分等　2022/3/11　新宿区**

**乾燥いちご　カルバリルが残留基準値を超えて検出**

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000321898.pdf>

　公表年月日　2022/3/11

　違反食品等　乾燥いちご

　適用条項　第 13 条

　違反内容　カルバリルが残留基準値を超えて検出された乾燥いちごの輸入及び販売違反食品製造者等　輸入者：ジャパンソルト株式会社不利益処分等の内容及び措置状況　販売禁止命令

**■違反食品等に対する不利益処分等　2022/3/9　中央区**

**トルコ産生鮮グレープフルーツ　防ばい剤「イマザリル」を0.0051g/kg検出**

<https://www.city.chuo.lg.jp/kenko/hokenzyo/syokuhineisei/kohyo.html>

　公表年月日　令和4年3月9日

違反食品　トルコ産生鮮グレープフルーツ

適用条項　食品衛生法第13条第2項

違反内容　防ばい剤「イマザリル」を0.0051g/kg検出した。

食品衛生法第13条第2項の規定により、イマザリルの使用基準（イマザリルとして、かんきつ類（みかんを除く。）にあってはその1kgにつき0.0050gを超えて残存しないように使用しなければならない）に適合しないため。

輸出国名　トルコ

違反食品輸入者 Wismettacフーズ株式会社

輸入者所在地　東京都中央区日本橋室町3丁目2番1号

不利益処分等の内容　令和4年3月8日回収指示　1,248CT(18,060.00kg)

備考　輸入届出年月日：令和4年2月7日

**★その他関連ニュース★**

**■インフルエンザ、12都府県から計21人の報告 - 厚労省が第9週の状況公表**

**3/14(月) 11:30配信　医療介護ＣＢニュース　全文**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f5518498c3001c44f510ac8bd83d95a52ec7e60d>

**■インフル今季も低水準　2年連続、海外は流行も　専門家、免疫低下に警鐘**

**3/14(月) 13:31配信　時事通信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2a326329cd503163d9645e68ac6bd600d0c0f275>

**■魚の鮮度「見える化」　輸出強化へ制度整備　農水省　佐藤先生からいただいた情報です**

**3/7(月) 13:29配信　時事通信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/17023bc4db47095e2115848eb0b53e3c59001e57>